

二葉 東京支部だより

節目の時代に

東京支部長 鈴木 泉



会員の皆さまには、ますます「健勝にて活躍のごこと存じます。」

諏訪二葉高等学校同窓会東京支部も令和 2 年 4 月で、創立 70 周年を迎えます。母校も男女共学になって 30 年、時代も平成から令和へと移り、時の流れや世の中の動きが今までにも増して早くなっているのを感じます。

役員の輪番制も始まってから 25 年以上の年月がたとうとしています。その時に支部長の年齢が 60 歳を少し越えて設定されたということは、定年を迎え仕事も一段落、同窓会活動にも時間をかけられるという意味があったと思われまふ。それが 70 歳まで現役で働けという時代が来ることは、当時どころか数年前でも誰にも想像もつかなかったことでしょう。

その間、年三回開催されていた幹事会も一回になり、総会、幹事会も平日から土曜日や休日開催となりました。時代の流れは速く、手書きの会員名簿や維持費納入に伴う様々な実務が、データとしてパソコンで管理され、維持するのも変更するのも非常に容易になりました。

支部だよりの「二葉」の発行は、編集印刷会社との編集や校正の頻繁なやり取りなど、プロに任せていた作業を役員が行うようになり、経費はほぼ半分から三分の一に削減することができました。役員会や正副支部長会も、レジマや内容の確認をデー

タのやり取りで行うようになり集まる回数減らし、役員の負担が軽減されています。すべてのことにはそれなりのリスクがあり、一概に良いことだけではありませんが、会員の減少、維持費の中でのやりくりが難しいことなどを考えれば、今後このような方向に進むことになることでしょう。

総会や幹事会のお知らせも、ハガキでなくネットや SNS による告知や出欠を取る時代も、そう遠くないのかもしれない。スマホやパソコンを自由に操る先輩方も、大勢いらつやいます。そんな中、同窓会のいろいろな問題をいとも軽やかに飛び越えて、新しい東京支部の形を作っていくような力を持った方々が現われてくれるのではないかと私は期待しています。

東京支部の存在すら知らないような会員に、電話などで役員就任の依頼をしている時に、耳を傾けて力になることとされる二葉の仲間、誇りと信頼を感じます。輪番制もよいものだと思う瞬間でもありました。昨年は、共学第一期の 42 回生が、支部の援助で同期会を開催するといつたうれしい出来事もありました。

令和元年度の定期総会には、話題の社会学者の上野千鶴子先生をお迎えして、160 名あまりの同窓生が参加し、有意義で楽しい時間をともに過ごすことができました。

また、10 回生の傘寿の方々のお元氣な姿。パフォーマンスで、会場が一体となりました。東京支部の先輩方、また後輩たちが社会への関心を持ち続け、講演に駆けつけてくれるというのは、役員として喜びでもあります。

自分たちの母校に誇りを持ち、同窓生としてつながっていただけるのは幸せなことです。

現在、長野県では少子化の流れの中で、ここ数年でいくつもの高等学校が再編されています。諏訪地方でもその流れに無縁ではないでしょう。母校を愛する気持ち、誇りに思い大切に思う気持ちは、誰しも同じだと思います。どんな提案が出されどんな形になるのかまだわかりませんが、同窓会として何ができるのか、どう支援していくか、これからの本部和連携しながら考えていきます。

皆さまには協力をお願いします。これもあと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。

母校玄関のステンドグラス



おひとりさまとして自分らしく生きる

〜あらゆる資源を活用して〜

講師 上野 千鶴子氏 社会学者東京大学名誉教授

高校37回生 井上 奈緒美



「おひとりさまの上野千鶴子でございます」

時の人の講演を楽しみに来られたたくさんの方の会員の前に現れた上野先生は、落ち着いた柔らかい物腰の中にも、芯の強さがうかがえるお姿。「部屋は暗くしないでください。話が暗いですから」などと、時折笑いを交えたお話に、私たちは引き込まれていきました。

それから約一時間、今後の高齢化、おひとりさま率の増加、死に場所の問題、家族の話、おひとりさまの利点、今の介護の現状、看取りにかかる費用、その問題に取り組んでおられる方々のお話し等を、次々とスライドを示されて、わかりやすく説明してくださいました。

先生曰く、暮らしを支えるとは、食事を口から入れて、下から出して、清潔を保つという三大介護であり、これができたら最期の最後まで家にいられる。そして



- 24時間巡回訪問介護、週2〜3回の看護、2週間に1回の医療の3点があれば在宅ひとり死は可能。

それを踏まえて、先生は「結論は出ました！在宅看取りはできません！独居でもハドルは越せます！」と力強く宣言されました。

在宅ひとり死の3条件は①本人の意思②本人の意思に従って最善のケアをしてくれる医療と介護をまたにかけた司令塔③司令塔が回すシステム、この3つ。そして、これらを行える人材やシステムが育ってきている。在宅ひとり死は決して恐れるものではないこと。しかも認知症でも可能だと。

最後に、独居でも看取りができるようになったのは、介護保険のおかげ。高齢者が安心して独居して、家族が安心して別居するために、この介護保険は絶対に後退させてはならない、というお話で締めくくられました。

そして、総会終了後にはサイン会も行われました。60冊用意した先生の著書はすぐに完売になり、希望者一人一人とお言葉を交わしながらサインをしてくださり、写真撮影のお願いにもこやかに応えてくださいました。

私たちにとって決して他人ごとではない、親や配偶者、そして自分の今後のことを考えさせられる貴重なお話を聞けて、とても有意義な時間を過ごせました。上野先生、ありがとうございました。

総会報告

東京支部副支部長 齊藤 玲子

東京支部総会は、5月11日（土）アルカディア市ヶ谷において参加者163名により開催されました。来賓として母校の守屋郁男校長、同窓会本部より岸昌代会長と石澤路子副会長にご臨席をいただきました。

総会は、村松副支部長の司会により進行され、校歌斉唱後、物故者に黙祷を捧げました。議事に先立ち、五味支部長より「同窓会維持と関心向上の取り組みに、協力していただきたい」との挨拶があり、引き続き、守屋校長と岸会長よりご祝辞をいただきました。議長には高校27回生の後藤澄子さんが選任され、

すべての議案が承認されました。午後の第一部の講演会は、社会学者の上野千鶴子先生（東京大学名誉教授）をお招きして「おひとりさまとして自分らしく生きる〜あらゆる資源を活用して〜」と題した講演をしていただきました。引き続き、上野先生の著書の販売とサイン会が行われ、講演会は好評のうち

に終わりました。第三部の傘寿を祝う会では、高校10回生26名の皆様を祝うバラの花が贈られました。祝う会では「ドレミの歌」の替え歌が披露され、その後しらかばの会よりお礼の言葉と共に支部に寄付金が贈呈されました。最後に「信濃の国」を皆で歌い、滞りなく終了しました。皆さまのご協力にお礼申し上げます。

総会アンケートより(回収 53 枚)

- ◆支部活動で力を入れること(複数回答)
 - ・若い世代の会員を増やす…58%
 - ・幅広い年齢層の交流を増やす…55%
 - ・男性会員を増やす…32%
 - ・維持費納入率の向上…30%
 - ・高校再編について母校と連携…26%
 - ・無回答…8%
 - ・支部だよりの充実…6%
- 「会報を近代的にする」「ホームページを充実させる」「後輩を支える機会を持つ」など
- ◆総会の催しの希望(複数回答)
 - ・二葉、地元ゆかりの方の講演…49%
 - ・その他の方の講演…45%
 - ・コンサート、公演…36%
 - ・パーティ…15%
 - ・その他…11%
 - ・無回答…8%
- 「各学年が学校での思い出を話す」「清陵と一緒にパーティをする」など
- ◆皆様の貴重なご意見を、今後の同窓会運営に役立てさせていただきます。

傘寿の皆様からのお手紙

総会終了後、高校10回生の皆様から温かいお手紙をいただきましたので、一部をご紹介します。

(順不同)

◆三浦 一重様

とても心に残る総会でした。上野先生の講演は「おひとりさま」の一人である私にとっても興味深い、タメになるお話でした。80歳になろうとしている今も、現役の介護職員として、グループホームで働いています。健康である限り総会には参加したいと考えています。傘寿のお祝いで頂いた一輪の深紅のバラに胸キュンです。

◆笠井 八重様

雨の中の運動会、ひな祭りの集い、先輩方にあこがれをいただき、あおいだ青空や見つめた湖。二葉生であった誇りが26名の同級生と共に胸にきざまれました。

◆中村 美智子様

楽しいひと時を作って頂いてありがとうございました。入学した当時、制服反対闘争がありました。おかげで私は私服のままゲタバきで通学し、一か月に一足のゲタバをぞつりのようにすり減らしていた

ことを懐かしく思い出しました。

◆矢野 茂子様

令和の同窓会に私共高校10回生の傘寿をお祝い下さりありがとうございました。誼訪女の気概を持って残りの人生も花のある日々を過ごして参りたいと存じます。遠き誼訪の地にも高校統合の話がある由、どうか永久に「二葉」の名前、校風が残る様、発展をお祈り致します。

◆上条 美耶子様

同窓会でお祝いしていただきありがとうございます。三陸海岸の旅で被災地「田老」の被害を見て言葉を失いました。機会があれば現地に行つて、何度となく津波に襲われた方々の苦難、人智の空しさを我が身で味わってください。日々の幸せに感謝です。

◆金子 靖子様

令和初の同窓会、傘寿のお祝いをありがとうございます。上野千鶴子先生の「おひとりさまとして自分らしく生きる」の講演は最後の不安を抱えている私たちにとって身近な内容であり、とても良かったです。何時も素晴らしい企画をし同窓生を繋いでくださる同窓会が、これからも継続発展してゆくよう願っています。

◆小池 瑞穂様

在学時にラジオ体操のクラス對抗大会で2位になり、皆で大喜びしたのが、今でも健康体操をやっている原点だったと改めて感謝しております。上野先生の「一人でも大丈夫だよ」というメッセージに元気づけられました。

◆市川 さく様

狂歌二つ

一輪の情熱の赤いバラ

傘寿言祝ぎ贈られ嬉し

お粗末サク

替え歌にタンバリン鳴らし

オンベ振り

傘寿喜び同窓会にエール

字余りサク

◆瀧本 雅子様

ただ過ぎに過ぐるもの 帆かけ
たる舟 人の齡 春夏秋冬
「枕草子」 260段

◆三谷 すぎ子様

二葉に入学して誇らしく思ったこと。ルールに縛られない反骨の意識の高さ、二葉魂はエイエイオ。その時の気持ち私の励みになっていた気がします。

素晴らしいお祝いに出席でき、皆様ありがとうございます。帰宅時の言葉はエイエイオーで大笑い。

◆三ツ井 資子様

同窓会は隣の人と10分も話していると、白き翼の乙女にタイムスリップし、リフレッシュされるような楽しい会でした。

ご寄付をいただきました

高校10回生(しらかばの会)から

145,000円

有志の方々から

154,010円

心よりお礼申し上げます。

有意義に使わせていただきます。



平成30年度 決算報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

本会計

<収入の部>

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 収入 | 備考 |
|---------|-----------|-----------|------------------|
| 前年度繰越金 | 1,980,992 | 1,980,992 | |
| 維持費 | 1,000,000 | 933,000 | |
| 賛助会費 | 200,000 | 172,043 | 誤入金43円含む |
| 寄付金等 | 0 | 383,000 | 9回生の皆様、中村様ご遺族様 他 |
| 雑収入 | 500 | 18,464 | 支部だより広告掲載費、預金利子 |
| 同窓会基金より | 0 | 0 | |
| 収入合計 | 3,181,492 | 3,487,499 | |

<支出の部>

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 支出 | 備考 |
|------------|-----------|-----------|---------------------------|
| 総講師謝礼・お車代 | 120,000 | 120,000 | |
| 会場費・諸経費 | 243,000 | 101,449 | 平成30年度総会補助 |
| 「支部だより」作成費 | 260,000 | 136,645 | 「支部だより」第23号印刷費、挨拶文、角2封筒印刷 |
| 弔慰金 | 5,000 | 1,212 | 弔文レタックス |
| 役員・事務局費 | 220,000 | 210,482 | 役員通信費・交通費他、事務局人件費 |
| 役員会議費 | 120,000 | 94,468 | 役員会議室使用料、役員弁当代補助 |
| 幹事会費 | 150,000 | 116,780 | 11/23幹事会会場費、資料印刷、案内通知 |
| 送料・通信費 | 350,000 | 251,959 | 「支部だより」第23号送料他 |
| 印刷・コピー費 | 50,000 | 12,858 | 資料印刷(用紙、インク、コピー代) |
| 事務用品費 | 10,000 | 1,499 | フラッシュメモリー、ラベル用紙 |
| 渉二葉本部関係 | 30,000 | 11,660 | 本部総会参加交通費 |
| 外連合同窓会 | 20,000 | 8,000 | 東京同窓連・南信同窓連年会費 |
| 雑費・予備費 | 40,000 | 36,371 | 同期会開催支援(42回生)、振込手数料 |
| 支出小計 | 1,618,000 | 1,103,383 | |
| 次年度繰越金 | 1,563,492 | 2,384,116 | |
| 支出合計 | 3,181,492 | 3,487,499 | |

東京支部同窓会基金

<平成30年度>

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 実行額 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|--------|
| 前年度繰越金 | 2,982,000 | 2,982,000 | |
| 引当金 | | 0 | |
| 積立金利息 | 0 | 3,000 | |
| 合計 | 2,982,000 | 2,985,000 | 次年度繰越金 |

上記のとおりご報告いたします。平成31年3月31日

会計 栗林 理恵 印 松村 佳代 印

上記は監査の結果、間違いありません。平成31年4月13日

会計監査 内田 真理子 印 和田 靖子 印

令和元年度 総会会計報告(令和元年5月11日)

<収入の部>

(単位:円)

| 項目 | 金額 | 備考 |
|------------|-----------|-----------------------|
| 会費 | 816,000 | 5,000円×162名+3,000円×2名 |
| ご祝儀 | 20,000 | 二葉本部より |
| 令和元年度本会計より | 120,000 | 講師謝礼金、お車代 |
| 令和元年度本会計より | 76,769 | 諸経費、補助 |
| 合計 | 1,032,769 | |

<支出の部>

(単位:円)

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|--|
| 講師謝礼・お車代 | 120,000 | 上野千鶴子先生 |
| 会場費用 | 729,429 | アルカディア室料 236,520円、 食事代 431,383円 設備費30,456円(ステージ・演台・マイク 他) 贈呈用花代 18,954円 サービス料 64,662円、値引き -52,546円 |
| 総会資料印刷代 | 154,464 | 葉書用紙代6,120円、案内状・資料印刷費 59,160円、郵送代89,184円(案内状、参加者返 信後納郵便代) |
| 雑費 | 28,876 | お土産代2,160円、役員交通費19,170円、各種 コピー・領収証等文具代7,546円 |
| 合計 | 1,032,769 | |

上記のとおりご報告いたします。令和元年6月8日

会計 栗林 理恵 印 松村 佳代 印

上記は監査の結果、間違いありません。令和元年6月12日

会計監査 加藤 妙子 印 戸田 敏恵 印

令和元年度 予算

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

本会計

<収入の部>

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 備考 |
|---------|-----------|-------|
| 前年度繰越金 | 2,384,116 | |
| 維持費 | 900,000 | |
| 賛助会費 | 150,000 | |
| 寄付金等 | 0 | |
| 雑収入 | 500 | 預金利子他 |
| 同窓会基金より | 0 | |
| 収入合計 | 3,434,616 | |

<支出の部>

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 備考 |
|------------|-----------|-------------------|
| 総講師謝礼・お車代 | 120,000 | |
| 会場費・諸経費 | 200,000 | 令和元年度総会補助 |
| 「支部だより」作成費 | 200,000 | 「支部だより」第24号印刷費他 |
| 弔慰金 | 5,000 | 弔文レタックス |
| 役員・事務局費 | 230,000 | 役員通信費・交通費他、事務局人件費 |
| 役員会議費 | 120,000 | 役員会議室使用料、役員弁当代補助 |
| 幹事会費 | 150,000 | 幹事会会場費、資料印刷、案内通知 |
| 送料・通信費 | 300,000 | 「支部だより」第24号送料他 |
| 印刷・コピー費 | 30,000 | 資料印刷(用紙、インク、コピー代) |
| 事務用品費 | 10,000 | 事務用品代他 |
| 渉二葉本部関係 | 30,000 | 本部総会参加交通費 |
| 外連合同窓会 | 10,000 | 東京同窓連・南信同窓連年会費 |
| 雑費・予備費 | 40,000 | 振込手数料 |
| 支出小計 | 1,445,000 | |
| 次年度繰越金 | 1,989,616 | |
| 支出合計 | 3,434,616 | |

東京支部同窓会基金

<令和元年度>

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 備考 |
|--------|-----------|----|
| 前年度繰越金 | 2,985,000 | |
| 引当金 | 0 | |
| 合計 | 2,985,000 | |

令和元年度 事業計画

1 主な会議・会合

令和元年度定期総会 : 令和元年5月11日(土)アルカディア市ヶ谷
役員会 : 6月、7月、8月、9月、10月、11月
令和2年1月、3月、4月、5月
幹事会 : 令和元年11月23日(土・祝)
会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
令和2年度定期総会 : 令和2年5月16日(土)
会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

2 主な事業 課題への対応

- ①同窓会維持費納入率の向上促進
 - ・学年幹事を通じての納入依頼(再確認依頼)
 - ・支部だよりに維持費納入依頼を掲載
 - ・同窓会への関心向上促進
- ②支部だより「二葉」第24号発行
- ③若い世代(男性会員を含む)の会員の拡大促進
 - ・新規会員の開拓
 - ・同期会・クラス会開催支援
 - ・若い世代の学年幹事開拓(支部だより発行時に呼掛け)
- ④時代に対応した同窓会の運営推進
 - ・会員の活動紹介と応援(支部だよりへの寄稿掲載等)
 - ・諏訪二葉高等学校同窓会本部との連携(名簿、ホームページ、情報交換等)
 - ・会員相互の情報交換の推進(各種SNS※、幹事会等)
※Twitter、Facebook、Instagram、LINE、YouTubeなど
- ⑤同窓会東京支部役員の内訳についての再検討
 - ・事務局の固定化
 - ・役員負担軽減化
 - ・役員選出方法の検討
- ⑥長野県立高等学校再編に向けて同窓会としての対応を協議

東京支部役員紹介

- ① 出身地・出身中学校
- ② これからやってみたいこと
- ③ 同窓会東京支部への抱負



●支部長

鈴木 泉 高校27回生

- ① 茅野市・長峰中学校
- ② 大つきいところでクラフトイベント開催。
- ③ 負担の少ない参加しやすい同窓会をめざします。

●副支部長

岡田 光子 高校27回生

- ① 茅野市・長峰中学校
- ② あちこちに子ヨイ住み&旅行。
- ③ 一年間無事に事業を行いたい。

●副支部長

齊藤 玲子 高校28回生

- ① 下諏訪町・下諏訪中学校
- ② 食へ歩き・旅行。
- ③ 微力ながら同窓生の交流にお手伝いできたらと思っています。

●副支部長

渋谷 和海 高校28回生

- ① 諏訪市・上諏訪中学校
- ② 電車で気ままなひとり旅。
- ③ 楽しく参加できる同窓会を引き継いでいきたい。

●南信同窓連・東京同窓連理事

若林 さき子 高校19回生

- ① 岡谷市・岡谷北部中学校
- ② 健康な体を作りたいと思います。
- ③ つまぐ運営していますし、今のまま長く続くことだけ願っています。

●会計

君島 洋子 高校32回生

- ① 下諏訪町・下諏訪中学校
- ② 認知症予防に、電子ピアノで好きな曲を弾けるようになりたい。
- ③ 二葉同窓生のパワーを引き継いでいけるといいです。

●会計

高際 みどり 高校32回生

- ① 岡谷市・岡谷西部中学校
- ② 中山道（日本橋〜京都三条大橋）を、徒歩で歩きたい。
- ③ 二葉の素敵な伝統を、明るく正しく繋げていきたいと思っています。

●記録

井上 奈緒美 高校37回生

- ① 岡谷市・岡谷東部中学校
- ② 世界遺産めぐり・ピアノ。
- ③ お元氣な先輩方のパワーを頂いて頑張ります。

●記録

高橋 三喜子 高校37回生

- ① 岡谷市・岡谷東部中学校
- ② 旅行。
- ③ 一人でも多くの方が参加できると良いと思います。

●記録

水野 香里 高校37回生

- ① 茅野市・長峰中学校
- ② 舞台、コンサート鑑賞・ゴルフコース再デビュー。
- ③ 先輩方のお手伝いがしたいです。

●会計監査

加藤 妙子 高校30回生

- ① 下諏訪町・下諏訪中学校
- ② 長期間世界放浪の旅。
- ③ 真面目過ぎない活動のあり方を考えたい。

●会計監査

戸田 敏恵 高校30回生

- ① 茅野市・長峰中学校
- ② 娘との気ままな女子旅。
- ③ 多感な時代を共に過ごした友人との再会の輪を拡げるお手伝い。

●事務局

瀧田 由織 高校27回生

- ① 諏訪市・上諏訪中学校
- ② これまでやってきた舞台朗読・講談・長唄等の芸事を深めたい。
- ③ 皆様からの維持費及び会員名簿を間違いなく管理いたします。

令和元年度 東京支部 代表幹事名簿

2019.6.20 現在

| 回生 | 氏名 | 回生 | 氏名 | 回生 | 氏名 |
|----|---------|----|---------|----|--------|
| 11 | 守屋 静子 | 23 | 宇田川 美和子 | 34 | 池上 敦子 |
| 12 | 秋田 中子 | 24 | 志賀 貴江 | 35 | 高杉 多実 |
| 13 | 大長 美智子 | 25 | 梶家 圭子 | 36 | 小池 和江 |
| 14 | 永田 福子 | 26 | 伊藤 民江 | 37 | 水野 香里 |
| 15 | 大橋 洋子 | 27 | 塚本 悦子 | 38 | 宮坂 さち子 |
| 16 | 春宮 みづほ | 28 | 辺 麦三子 | 39 | 大庭 節子 |
| 17 | 二階堂 なつみ | 29 | 内田 眞理子 | 40 | 藤井 みさき |
| 18 | 中坪 清子 | 30 | 谷口 文 | 41 | 小林 春美 |
| 19 | 下澤 泉 | 31 | 松木 きよみ | 42 | 尾崎 恵美 |
| 21 | 大竹 みどり | 32 | 高際 みどり | 43 | 後藤 みどり |
| 22 | 伊東 みふね | 33 | 藤森 ゆり子 | 44 | 中村 あゆみ |



〜輝く同窓生〜

高校1回生 宮崎 玲子さんを訪ねて

高校24回生 神長 こぎく



宮崎 玲子さん

令和になって初めての総会が盛会裡に終わり、新体制が発足しました。来年、東京支部は70周年を迎えますが、ここまで繋げてきた伝統の重みを強く感じました。その節目を前に、高校1回生の宮崎玲子さんを訪ねる機会を得ることができました。

初めてお会いした宮崎さんは、凛としていて、理知的で、とても米寿を過ぎたとは思えない若々しさ。エネルギーで魅力あふれる先輩でした。特に印象に残ったことをご紹介させていただきます。

■現在の役員選出方法をスタートさせた平成4年の支部長

- ・支部長の任期は1年、卒業回生順
- ・副支部長3名の内2名は次年度正副支部長
- ・役員は記録→会計→副支部長→支部長

東京支部の役員は、卒業回生順に該当学年から選出され、担当毎に順送りしています。この制度は、平成3年、支部長が清水保さん、副支部長が宮崎さんの時に、支部の発展を願い、各学年が均等に同窓会の仕事を分担するために改革された方法で、実際に入スタートさせた支部長が、宮崎さんです。

改革の最も大きな点は、支部長の任期が1年になったことです。支部長は前年度副支部長を経験した2名の内の1名が選出されるので、支部運営をスムーズに継承出来ると考えての改革でした。

また、当時は60歳が定年だったので、定年後に支部長になるよう役員該当学年を明確にしました。この改革は、一人が長くやるのではなく、どの回生にも役員をを広げ、全体で支えるという同窓会運営の組織化を図ると共に、役員該当学年として同窓会への関心と自覚を持つよう促した先見性のあるものでした。

■疎開で諏訪高等女学校へ転入

宮崎さんは、東京の女学校に1年通った後、昭和19年に諏訪市に疎開し、4月諏訪高等女学校に転入しました。当時の学校生活は、戦時中だったので教練や農村の手伝いなどの勤労奉仕、やがて軍需工場へ動員されるなど、戦後の幸せな学校生活とは違ったものでした。

戦争が終わり、宮崎さんは昭和22年に東京の女子大への進学が決まり、卒業となりました。この時期は学制

改革の過渡期だったので、同じ入学年でも卒業回生は様々だそうですね。

■現役バリバリの一級建築士・博士(学術)・日本民俗建築学会顧問

宮崎さんは30歳で建築の勉強を始め、現在、現役の一級建築士で、設計の傍ら調査・執筆活動などをしておられます。構造家になった宮崎さんは建築設計の余暇に「伝統的住まい」の探訪を始め、その魅力・奥深さにのめり込んでいきます。特に興味のは中心は、住まいの中の「火」の位置でした。半世紀に及ぶ調査研究の一端を、7月に「台所見聞録」展東京会場で見せて頂きました。

会場に入ると細部に至るまで見事に再現された模型に目を奪われました。これらは、直接各国に足を運び調査・収集したものを、「本人が10分の1に忠実に再現したものなので、各地域の伝統的な住まいの台所の位置や様子が、手に取るようにわかりました。

また、訪れた台所を示した約70カ所の世界地図からは、北緯40度を境に「火」と「水」の使い方に違いがあり、北側は鍋を「吊る」地域、南側は鍋を「置く」地域、と明瞭に読み取れました。

この研究結果論文により、宮崎さんはお茶の水女子大学で学術博士学位を取得されました。

最後に、宮崎さんが貴重な時間をさいてくださったことに感謝申し上げます。そして、今後も健康で現役を続けられることを、祈念いたします。

【参考文献・記録】

- 『語り伝える戦時下の暮らし』宮崎玲子(三協社)
- 『台所見聞録 人と暮らしの万華鏡』宮崎玲子、須崎文代(LIXIL出版)
- 『平成4年度を顧みて』宮崎玲子



『台所見聞録』展



奥村 睦子先生を訪ねて

高校27回生 岡田 光子

■二葉高校での教師生活は
どのようなものでしたか

昭和44年から57年まで
の計14年間に、約336

今や小学校の授業にも取り入れられ、幼稚園児から年配者までが夢中になっているダンス。私たち二葉生は、時代を先取りしたような魅力的な創作ダンスの授業を、何十年前も前に奥村先生より教えていただきました。週一回の授業を思い出される方も多いのではないのでしょうか。今も変わらず、前向きで素敵な先生を訪ねて、二葉時代の思い出、ご自身の人生などを語っていただきました。

■先生の経歴などをお話してください

飯田市で生まれ、高校時代は、信濃境から二葉高校に通っていました。信州大学教育学部に入學後、専科で体育を専攻し、体育の教師として高校に赴任、そこで「自分にしかできないものを！」と考え、勉強会に参加して舞踊を始めました。養護学校での勤務も含め5校で教え、61歳で定年退職。退職後十数年がたち現在70歳代、独身、諏訪市在住です。



0名に舞踊を教えました。体操の指導が専門ではないのに体操部顧問となった私に、部員たちは補助の仕方などを上手に教えてくれて、こちらは育ててくれました。当時の二葉生は大人でした。私の意見や感想などには、目をキラキラさせながら聞き入り、自主性、上昇志向が強かったと思います。

また、体育祭の発表では、2年生はクラス単位、3年生では学年全員で創作舞踊作品を作りました。特に3年生は、夏休みに構成委員が集まって各クラスの動きを検討・構成するなど、熱心に取り組んでくれました。時には、自分の力不足を感じたこともありました。当時の同僚の赤羽先生、立石先生から「むっちゃん、俺らから見れば、毎年確実にレベルアップしてるで！」と言われたことは嬉しかったですね。

■今のダンスブームをどう思われますか

こんなに多くの人達がダンスを志し、私は先見の明があったかな？と思いませんが、難しいステップや、動きを揃えるようなダンスではなく、私は各自の中に埋もれたもの、普段あまり表に出ないものを引き出す為のダンスを目指していました。そのまとめとして卒業作品を作り、自分の内なるものの表出、それを助ける

音楽・衣装を、すべて個人で考える創作舞踊の発表をしてみたいという結果、思わぬ表現力に気づかされた。驚いたり多くの発見がありました。学校だけでなく、校外での発表も視野に入れていたが、二葉在職中には叶わず、その後、塩尻志学館高校在職中に教員生活の集大成としてそれを実現できました。

■現在どのようにお暮しですか

2017年8月に函国にあるシアターX(カ)で、研究所としての公演を行いました。私の作品「マグマ」も出して頂くことができ、自分も踊りました。その後、腰を痛めて、起き上がるのもやっとだった時期もありましたが、今は回復してきています。踊れないのがちよつと残念です。

在職中から興味があった陶芸を定年後始め、作品作りに励んでいます。また、流派にこだわらず、千利休の本来の教えである「禅」との結びつきに依る自己修行と共に「茶は飲むものなり」で、点てて飲むことを楽しむという「お茶」を長年たしなんでいます。二葉の茶道部もその流れを汲むものです。そして今も、週1回のストレッチ教室で指導を行っています。

梅雨も終わりの7月下旬に役員2名で訪問し「顔を視たら、誰だか解るわ！」と言ってお迎え頂き、一気に心は高校時代に飛んでいきました。先生と生徒を越えて、おばさん同士

のように会話が弾み、厚かましい質問にも丁寧に答えていただきました。棚には所狭しと先生の作品の抹茶碗が並べられ、そのお茶碗で薄をいただきました。話の間に3人で高校時代のステップをいくつか踏んで、話にも花が咲きました。今もキリツとカッコよく、楽しく暮らされているご様子の奥村先生とお会いできて、本当にうれしい一日でした。

母校だより

諏訪二葉高等学校は現在、男子274名、女子446名、計720名の生徒が在籍しています。部活動も盛んで、体育部17、文化部12、同好会4、延べ参加人数728名。理事会で母校に伺った時も、暑い中、書道部がパフォーマンスの練習を元気に頑張っていました。長野県の高等学校総合文化祭の事務局が置かれ、生徒の実行委員会が活動を活発に行っています。

学校、PTA、同窓会の三者が主催する明治のピアノを使った「ロビーコンサート」が、今年も9月23日(月・祝)に行われました。

一方、少子化に伴う高校改革の方針が進められ、「高校の将来像を考える地域の協議会」が諏訪地方でも9月にスタートし、話し合いが始まります。

東京支部としても、これからの動きを重視し、同窓会本部と連携しながら、できることを考えていきたいと思っています。



令和2年度 定期総会のお知らせ

日時：令和2年5月16日(土) 午前10時～午後3時
 会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 市ヶ谷駅徒歩2分
 東京都千代田区九段北4-2-25 電話：03-6685-0541
 内容：①総会 令和元年度事業・決算・監査報告
 令和2年度役員紹介、事業計画(案)・予算(案)審議
 ②講演 鵜飼 幸雄氏「縄文王国諏訪」
 ③茶話会



※詳細は令和2年3月末にご案内します。

鵜飼 幸雄(うかい ゆきお)氏

茅野市尖石縄文考古館前館長。1954年茅野市生まれ。立正大学文学部史学科考古学専攻卒業。1976年茅野市役所入庁、2014年3月定年退職。教育委員会で文化財保護と博物館行政を担当。縄文のビーナスの発掘と国宝指定、市史編纂、尖石遺跡の整備、考古館の運営などに携わる。日本考古学協会会員、長野県考古学会会員、茅野市文化財審議委員会委員。著書『国宝土偶「縄文ビーナス」の誕生・棚畑遺跡』(新泉社、2010年)など。奥様とお嬢様二人は諏訪二葉高校の同窓生。

令和元年度 幹事会のお知らせ

日時：令和元年11月23日(土・祝)
 午前9時～12時
 会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
 内容：①令和元年度定期総会報告
 ②令和元年度支部活動について
 ③令和2年度に向けて など
 ※幹事の皆様には後日ご案内いたします。



令和元年度 役員連絡先

| 役職 | 氏名 | 電話・FAX |
|------|-------|--------------|
| 支部長 | 鈴木 泉 | 044-701-1766 |
| 副支部長 | 岡田 光子 | 048-767-8418 |
| 副支部長 | 齊藤 玲子 | 042-551-2741 |
| 副支部長 | 渋谷 和海 | 0466-65-0306 |
| 事務局 | 瀧田 由織 | 044-965-1345 |

編集後記
 令和初の支部だより
 に携われたこと、ありが
 たく思います。令和を手
 話で表すと、指で蕾を作
 りそれを開く形だそう
 です。この支部だより
 も、1号から24号まで、
 大きな花になっていくと
 思います。これから益々
 美しく大きくなるよう
 に、役員一同努力いたし
 ます。
 どうか今後とも皆様
 のお力添えをよろしく
 お願いします。(渋谷)

維持費納入のお願い
 支部だよりは、年一回
 発行し、今回は過去5年
 間に維持費を納入された
 方と、33回生以降の会員
 にお送りしています。
 東京支部は本部の会費
 とは別に、年2000円
 の維持費で活動し、支部
 だよりや会員相互の交流
 などに使っております。
 同封の払込用紙にて納
 入いただけますよう、お
 願いたします。

ふるさと信州諏訪からのご案内～諏訪地域6市町村への移住に興味のある皆様へ

■諏訪を知ろう！諏訪と出会う！

「諏訪エリア de 縁結び」上諏訪駅周辺の酒蔵や温泉場の散策、リノベカフェでランチ！

諏訪地域6市町村では民間と行政が連携して移住を希望する皆様に諏訪地域をPRしています。

今回、諏訪の街並みを舞台に諏訪地域在住の男性と、移住を考えている女性とをマッチングする『諏訪エリア de 縁結び』を実施します。某街歩き番組を彷彿させるJR上諏訪駅周辺の酒蔵・温泉場の散策、リノベーションカフェでランチ、等の諏訪の魅力・再発見まち歩きツアーです。

諏訪地域に新しい縁を求めている方のご応募、お待ちしております。

移住者がリノベカフェ開業！

- ・日時：令和元年11月2日(土)
午前10時～午後6時(予定)
- ・内容：【第一部】JR上諏訪駅周辺のまち歩き
・まち歩き、1対1自己紹介、リノベカフェランチ等
【第二部】マッチング
・フリータイム、マッチング
- ・対象：男性 諏訪地域内に在住・在勤(30歳代)
女性 諏訪地域外に在住・在勤、且つ諏訪への移住に興味がある独身女性(30歳代)
- ・参加費：5,000円(当日支払い)
- ・申込み：10月22日(火)まで ※詳しくは諏訪圏移住交流推進事業連絡会HPをご確認ください！

- ・応募方法：以下の8項目を記載して、Eメールでお申し込み下さい。
1.氏名(フリガナ)、2.住所、3.年齢、4.性別、5.職業、6.携帯電話番号、7.メールアドレス、8.参加動機

<お問い合わせ>『諏訪エリア de 縁結び』担当
 TEL：090-8857-2864、E-Mail：apply.kkt@gmail.com



「長野県地域発元気づくり支援金」活用事業